

がん対策をはじめとする健康保持のための取り組みは

公明党 三谷 小鶴

●健康な暮らしを支えるまちづくりについて

Q 乳がんを早期に発見するためには、定期健診に加え、毎日の自己検診が大切だが、市民への周知・啓発ツールとして、自己検診用グローブの導入を検討しないか。

A すでにグローブを導入している自治体の状況やその効果、国の見解など、情報収集をしていきたい。

Q ジェネリック医薬品差額通知は、現在、1カ月で500円以上上安価になる方を対象に送付しているが、300円以上上安価になる方に対象を拡大する考えはないか。

A 通知対象となる差額も含めて、より効果的な対象者の抽出方法を検討していく。

Q 市民課の窓口番号表示モニターを活用し、ジェネリック医薬品の理解や利用促進に向けた啓発をしないか。

A 保険税などの納期の揭示に加えて、特定健診やジェネリック医薬品のPRに活用していきたい。

Q 健康ポイント制度は、ポイントを貯めることでさまざまな賞品への交換やサービスが利用できるため、楽しく健康づくりに取り組めるが、本市でも導入を検討しては。

A がん検診や特定健診の受診率向上の効果も期待できるため、実施している自治体の成果などを参考に取り組みの必要性を判断していく。

切れ目のない子育て支援をどう展開していくのか

公明党 内山 恵子

●切れ目のない子育て支援について

Q 支援が必要な保護者のためにサポートブックの導入を検討しないか。

A 市では、妊産婦・乳幼児等情報管理システムを活用して庁内関係部署と情報共有を図り支援しているが、サポートブックの作成も障がい福祉課などと調整していく。

Q 産後ケア事業として体操教室を開催してはどうか。

A 保健福祉プラザ内の新たな子育て支援センターと調整し、検討していきたい。

Q 保健福祉プラザ内の子育て支援センターで、保護者向けの育児書などの配布や貸し出しを検討してはどうか。

A 現在、綾南の支援センターで食育などの書籍を貸し出しているが、プラザ内のセンターでも行っていきたい。

●市民の読書活動推進及び環境整備について

Q 本の有料宅配サービス制度を新設しないか。

A 現在導入は考えていないが、多くの市民に図書館に来てもらえるようサービスの拡充に努めていきたい。

Q 一人一人が好きな本を持ち寄って、書評を展開し合うゲームのビブリオバトルや子どもを対象にした作家による講演会を実施しないか。

A 平成29年度にビブリオバトルの実施を予定しているが、講演会の予定はない。

多文化共生社会に対応する外国籍住民への支援を

志政あやせ 武藤 俊宏

●多文化共生社会の現状と課題について

Q 外国籍住民への言語に対応する支援の取り組みは。

A 通訳・翻訳ボランティアなどを紹介するとともに、日本語を母国語としない方が安心して医療を受けられるよう、かながわ医療通訳派遣システムを案内している。

Q 外国籍住民の自治会加入促進の方法は。

A 外国人市民生活ガイドに掲載しているが、今後、市内企業や日本語教室などに対し、自治会加入促進の協力をお願いしていく。

A 平成29年2月から市民課に設置したパソコンを活用し、ホームページの配信画面に英語字幕を加え、ゴミ出しルールなどの閲覧ができる。

●防災まちづくり計画について

Q 綾西自治会へ防災まちづくり活動を支援するとのことだが、高齢者への対策は。

A 元気な高齢者に防災の担い手となってもらえるよう、地域住民の意見を聞きながら活動支援を進めていく。

Q 防災まちづくり活動を実施した地域では、意識の変化はあったか。

A 大上や寺尾北住区では簡易型感震ブレイカーを設置する戸数が増え、防災意識の高まりを実感している。

米艦載機移駐後も変わらない騒音問題をどう考えるか

二見 昇

●米艦載機岩国への移駐後の厚木基地について

Q 米艦載機は、移駐後も厚木基地に飛来し爆音は変わらないと考えるがどうか。

A 米艦載機が厚木基地へ飛来する機会は減少し、騒音は軽減すると考えるが、引き続き騒音被害の解消に向けた取り組みを行っていく。

Q 第5次厚木爆音訴訟原告団が結成された場合、市はどのように対応するのか。

A 訴訟が行われるのであれば、これまでと同様の支援

を考えている。

Q 厚木基地で米艦載機を整備していた日本飛行機株式会社も、移駐に併せて岩国基地に移動するのか。

A 国からは、補給処レベルの整備は岩国基地で行うと説明があったが、日本飛行機株式会社の説明はなかった。

Q 寺尾小学校と厚木基地の交流が始まった経緯は。

A 平成9年度に市教育委員会会の英語の指定校として研究を始め、独自に基地関係者に外国語指導助手を依頼した



ことから交流が始まった。

Q 戦闘行為をイメージさせる迷彩服を着用した米軍人と子どもたちの交流をどう考えているのか。

A 米海軍の方は、日ごろから業務中に迷彩服を着用しており、業務の合間のボランティア活動に、それ以上の意味はないと考えている。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。

また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

3月定例会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。



市公式マスコットキャラクター「あやびい」

議会の動き

- 2月
 - 13日 大和市議会議員来市(活動量計)
 - 20日 議会全員協議会・議会運営委員会・議会改革検討協議会
 - 27日 3月定例会本会議(初日)・議会全員協議会
 - 28日 3月定例会本会議(第2日)・議会報編集委員会
- 3月
 - 2日 市民福祉常任委員会
 - 3日 経済建設常任委員会
 - 6日 総務教育常任委員会
 - 13日 基地対策特別委員会
 - 16日 3月定例会本会議(第3日)
 - 17日 3月定例会本会議(第4日)・議会運営委員会
 - 21日 3月定例会本会議(第5日)・議会改革検討協議会
 - 23日 3月定例会本会議(最終日)・議会全員協議会・議会報編集委員会
 - 4月
 - 20日 議会全員協議会・議会運営委員会・議会改革検討協議会
 - 27日 議会報編集委員会
 - 5月
 - 2日 議会運営委員会
 - 10日 議会運営委員会
 - 11日 5月臨時会・議会運営委員会・総務教育、市民福祉、経済建設各常任委員会・基地対策特別委員会・議会報編集委員会・議会全員協議会

